

地域文化観光推進事業の進捗状況

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R7実施内容	R7予算額	R7支出見込額	担当課
事業1-①	解説・紹介文の制作 展開事業	文化資源についての解説文や動画を制作し、各媒体で展開する。 ・彦根城、彦根城博物館、旧城下町地区および佐和山城跡周辺の文化資源に関するストーリー性のある基調を同じくした解説・紹介文の制作 ・彦根城の世界遺産登録に向けて、彦根城とその周辺地域に伝わる文化資源を紹介するプロモーションビデオを制作、放映する。	R3～R7	令和6年度に作成した動画の放送を継続した。	0	0	文化財課
事業1-②	開国記念館常設展示 リニューアル事業	開国記念館において、最新の研究・発掘等の成果をふまえて特別史跡彦根城跡についての魅力をわかりやすく解説し、彦根城や玄宮楽々園などの文化財を実際に観覧する前に基本的な情報を獲得できるための常設展示をリニューアルし、充実させる。	R4～R6	令和5年度の企画展を引き続き実施した。	0	0	文化財課
事業1-③	彦根藩資料調査研究 活用事業	「殿様の日常生活」を研究テーマとし、重要文化財彦根藩井伊家文書等、彦根藩関係の文化資源を用い、彦根城博物館学芸員と外部の専門研究者が共同研究を進め、彦根城主であった井伊家当主の日常生活の具体的様相を明らかにする。 その研究成果を博物館展示や出版物などによりわかりやすく広く発信するなど、史料に基づき明らかになった歴史を彦根の文化観光に活用していく。	R3～R7	外部の専門研究者との共同研究会を実施した。 また、令和8年3月29日に、これまでの調査成果についての公開シンポジウムを開催する。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	1,216	1,175	彦根城博物館
事業1-④	文化資源魅力体感事業	彦根城および彦根城博物館、旧城下町地区、佐和山城跡周辺の文化資源の魅力を伝えるため、広く市内外の者を対象として、現地見学会等を実施する。	R3～R7	歴史探索ウォークを2回(11/9、11/30)、世界遺産ウォークを2回(12/6、3/14)開催した。	15	13	文化財課
事業1-⑤	伝統芸能・伝統芸道 体感事業	彦根城博物館において、江戸時代後期に建てられた彦根城表御殿能舞台と、藩主が日常生活を営んだ表御殿奥向きを江戸時代さながらに復元した木造復元棟を活用し、彦根で栄えた能・狂言といった伝統芸能、茶の湯などの伝統芸道を体感・体験し、彦根さらには日本の歴史・文化に関する理解を深める場を提供する。 ・能・狂言の公演、体験型ワークショップの開催 ・能狂言公演動画のデジタル化、鑑賞ビデオコーナーの刷新 ・茶の湯体験（土・日・祝日に木造棟での茶室で茶の振舞を受けるコースを設ける。） ・茶会の開催	R3～R7	機器のリースを継続し、画像閲覧サービスを引き続き提供している。 なお、市の厳しい財政状況により、能・狂言事業の実施予定なし。	115	115	彦根城博物館
事業1-⑥	歴史・文化発展継承 事業	○小中学生、高校生等が、彦根城や彦根城博物館、旧城下町地区、佐和山城跡周辺の文化資源を親しみながら学ぶことで、市民のおもてなし意識の向上、文化観光への参画意欲の向上を図るとともに、将来にわたり彦根の文化観光が発展していく礎とする。 ・井伊直弼の心を受け継ぐ茶道体験教室の開催 ・展示・ホームページ等における分かりやすい情報発信 ・出前講座の実施・観光ガイド体験 ・教育機関との連携 ○地域の歴史・文化の語り部として、ボランティアガイドの育成支援を行い、拠点施設や周辺エリアの観光ガイドの充実を図る。	R3～R7	10月13日に小学生を対象とした茶道体験教室を開催した。 参加人数：31名 ボランティアガイド協会への運営補助を継続して実施した。	彦根城博物館 66 観光交流課 2,753	彦根城博物館 51 観光交流課 2,753	彦根城博物館 観光交流課

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R7実施内容	R7予算額	R7支出見込額	担当課
事業1-⑦	多言語情報提供強化事業	○外国人来訪者のニーズに応じ、外国人目線を意識した情報提供を強化する。 ・多言語パンフレットの充実（英語・中国語繁体字・中国語簡体字・フランス語・韓国語・スペイン語） ・彦根城博物館の展示解説の多言語化の充実 ・施設案内・館内アナウンスの多言語化 ・彦根城博物館でのアプリを用いた展示解説多言語音声ガイドの導入・充実 ・彦根城博物館名宝図録（英語版）の制作 ・彦根藩の歴史、彦根城博物館の収蔵品に関するコンパクトな英語版解説書の作成 ・多言語対応が可能な有償ガイドの育成・活用の検討 ○日本の歴史文化にも造詣の深い近江観光大使クリスグレン氏（（一社）近江ツーリズムボードが委嘱）を外国語翻訳アドバイザーとして起用し、ネイティブな外国語による伝わりやすく、かつ、適切な文化資源の魅力の解説・発信を行う。	R3～R7	なし。	0	0	彦根城博物館 観光交流課
事業1-⑧	観光行催事事業	彦根城を生かした観光イベントを実施し、観光客の増加を図る。 ・彦根城桜まつり・観月の夕べ・ひこねの城まつり・錦秋の玄宮園ライトアップ ・彦根城夜間ライトアップ など	R3～R7	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月の夕べ・城まつり等)	28,765	27,565	観光交流課
事業1-⑨	文化資源周遊観光促進事業	重点区域内だけでなく、市内全域の文化資源を活用して、周遊観光を促進する取組を実施する。 ・鳥居本地区、高宮地区、荒神山周辺、びわ湖エリア等、市内に点在する城跡・古墳などをめぐるツアーやラリー等周遊企画の実施 ・周遊マップの作成や現地案内サイン、音声ガイド等の整備	R3～R7	多言語音声ガイドコンテンツサーバー維持管理	66	66	観光交流課
事業1-⑩	特別史跡彦根城跡鳥獣被害調査・生態調査実施事業	特別史跡彦根城跡内の観音台登り口付近が鳥類のコロニー化し、鳥獣被害により来訪者の不満につながるおそれのある状態となっている。 当史跡内は鳥獣保護区であるため、鳥獣の駆除は困難であるが、鳥獣被害調査・生態調査等を実施し、対応策を検討することで、来訪者のストレスを解消し、満足度の向上を図る。	R6～R7	県費補助（25万円）を受け、継続して巣及び巣周辺の樹木の強剪定を実施した。	500	500	文化財課
事業2-①	周遊観光アクセス向上事業	彦根城および彦根城博物館を核とした周辺観光地の面的拡大を図り、観光客の回遊性を高めるため、彦根城周辺地域の巡回バスの運行、レンタサイクル事業の実施を行うほか、グリーンスローモビリティなど新たな交通手段の導入を検討する。 巡回バスの運行は、グリーンスローモビリティや事業2－②のパーク・アンド・バスライドとの連携を含め、効果的に実施する。	R3～R7	該当なし	0	0	交通政策課
事業2-②	観光客アクセス向上事業 （パーク・アンド・バスライド）	彦根城跡周辺の慢性的な交通渋滞の緩和や観光客の周遊等を目的に、自家用車から専用バスに乗り換えて目的地まで向かうパーク・アンド・バスライドの社会実験を行った後、本格実施する。	R3～R7	該当なし	0	0	都市計画課 交通政策課
事業2-③	観光客アクセス安全確保事業	観光客を含む歩行者の安全安心対策等のため、彦根城跡周辺の道路環境を整備する。 ・立花船町線道路改築 ・大東船町線道路改築 ・尾末町2号線道路改築	R3～R7	なし	0	0	道路河川課 都市計画課

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R7実施内容	R7予算額	R7支出見込額	担当課
事業2-④	観光地案内等情報提供充実強化事業	彦根駅・彦根城周辺の案内サイン等を整備することで、観光客への情報提供の充実・強化を図る。 ・案内サイン整備 ・彦根駅サイン整備 ・バスロケーションシステム情報表示盤整備	R3～R5	なし	0	0	文化財課 都市計画課
事業2-⑤	おもてなし空間整備事業	彦根駅・彦根城周辺に休憩スポット等を整備し、観光客の周遊環境を向上する。 ・彦根駅西口広場改築 ・休憩スポット整備（市役所前・彦根城周辺） ・都市公園（金亀公園）再整備 ・都市公園（京町公園）整備	R3～R7	金亀公園：（明繰）駐車場拡張、園路整備【都市計画課】 特になし【道路河川課】	都市計画課 103,931	都市計画課 103,931	都市計画課 市街地整備課 道路河川課
事業2-⑥	キャッシュレス支払システム導入事業	彦根城・彦根城博物館において、現金を利用しない外国人向けにキャッシュレス（クレジットカード）決済システムを導入する。	R3～R7	専用機器のリースを継続し、引き続きキャッシュレス決済を行った。	165	165	彦根城博物館
事業3-①	商品・グッズ等開発事業	史料等も活用し、「ここでしか買えない」「このときにしか買えない」といった来訪意欲や満足度の向上に繋がるような、彦根城と彦根城博物館ならではの商品・グッズの開発・販売を行う。	R3～R7	新作の限定版御城印を作成し、販売した。 引き続き、民間事業者の協力を得て博物館オリジナルグッズを制作し、販売した。	110	98	彦根城博物館
事業3-②	拠点施設を活用したツアーメニュー開発事業	拠点施設の夜間特別公開等の実施および公開に合わせた宿泊施設と連携したパッケージツアー、学芸員によるガイドツアー、能舞台での能・狂言イベント鑑賞ツアー等の開発・検討・実証等の事業を実施する。 ・彦根城および彦根城博物館の夜間特別公開 ・学芸員による館内解説付き能・狂言鑑賞ツアー ・名勝玄宮園夜間貸し切りディナー付き特別ツアー 等	R3～R7	なし。	0	0	彦根城博物館 観光交流課
事業3-③	拠点施設を活用したにぎわいづくり事業	彦根城博物館の復元木造棟など拠点施設を観光事業者が活用し、体験事業やイベントの開催などを実施する。 ・夜間・早朝時間帯における木造棟での史料も参考にした食事体験 ・施設の夜間特別公開イベントに合わせた屋外レストランやナイトマーケット 等	R3～R7	なし。	0	0	観光交流課 彦根城博物館
事業4-①	文化観光情報発信事業	「彦根観光ガイド」（総合観光情報）、彦根城、彦根城博物館の各ホームページ・SNSのリニューアル・コンテンツ充実や広域観光情報ホームページ「VISITOMI」を含めた連携強化を図るとともに、関係機関・メディア等を通じて、積極的に情報発信を行う。	R3～R7	ホームページ、XをはじめSNS等を継続して運用した。	観光交流課 470	観光交流課 470	彦根城博物館 観光交流課
事業4-②	文化観光誘客プロモーション事業	彦根城や彦根城博物館その他の市内の文化資源や文化観光の魅力を国内外にPRし誘客を図る。 ・WEB、雑誌、交通等各種媒体を活用した広告掲出等によるプロモーション ・大都市圏で開催される観光展、旅行博等への出展によるプロモーション	R3～R7	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を継続して実施した。 (誘客プロモーション・お城EXPO(横浜・松江・滋賀・愛知)、大阪・関西万博など) 彦根城博物館は「にっぽん城まつり」に出展。	観光交流課 6,968 彦根城博物館 282	観光交流課 7,088 彦根城博物館 282	観光交流課 彦根城博物館

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R7実施内容	R7予算額	R7支出見込額	担当課
事業5-①	彦根城内看板整備事業	彦根城内の既存の案内看板の仕様を統一し、改修する（案内看板は乱立させず、補足情報等はQ Rコードを用いて公開する。）。 【※事業1－①関連】	R4～R5	彦根城跡等維持管理委託業者の協力のもと、彦根城公式ホームページでのスマートフォンを活用した多言語音声ガイドの実装に向けた検討を行った。	0	0	文化財課
事業5-②	彦根城博物館リニューアル事業	彦根城博物館の魅力を高めるため、能舞台周りの改修のほか、ホール等のおもてなし空間をリニューアルする。 ・能舞台正面見所・脇見所の改修 館中央にある江戸時代の能舞台について、イベントなどで活用するに当たり、能舞台の見所（観客席）のある建物を開放することにより外気が館内に流入し、博物館展示室・収蔵庫の文化財の保存環境に悪影響を与えるリスクがあることから、安全な文化財環境の維持、と能舞台の活用を両立するため、正面見所・脇見所のパーテーションを整備するなど、外気の流入を防止するために必要な能舞台周りの改修を行う。 ・おもてなし空間リニューアル ホール・受付・ミュージアムショップ・薄茶席といったおもてなし空間のリニューアルによりくつろぎやすい空間を提供する。 ・館内サインリニューアル 館内のサインをリニューアル後の様態とマッチし、統一したものとするとともに、わかりやすい表示にする。 ・能・狂言鑑賞ビデオコーナーのリニューアル 能・狂言の公演動画を放映するため、映像機器の刷新整備を行う。 【※事業1－①、1－③、1－④、1－⑤、3－②、3－③関連】	R3～R6	なし。	0	0	彦根城博物館
事業5-③	彦根城博物館館展示ケース整備事業	展示における作品の見せ方、説明の仕方などを創意工夫して展示作品の魅力を十分に味わうことができるよう、展示ケース整備を行う。 ・低反射フィルム貼付 展示作品そのものの魅力を十分に堪能できるように、展示ケースガラスに低反射フィルムを貼り付ける。 ・展示ケース内のデザイン・展示具の整備 展示作品の魅力を実感・体感できるように、展示ケース内のデザイン・展示具を整備する。 ・独立展示ケース購入 【※事業1－①、1－③、1－④関連】	R3～R6	なし。	0	0	彦根城博物館
事業5-④	佐和山史跡公園環境整備事業	佐和山城跡周辺への来訪者に対して、佐和山城の歴史を学ぶスペースとするとともに、休憩できる場所とするため、四阿を整備する。 【※事業1－⑨関連】	R3～R5	なし	0	0	観光交流課

地域文化観光推進事業の進捗状況

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R3実施内容	R4実施内容	R5実施内容	R6実施内容	R7実施内容	担当課
事業1-①	解説・紹介文の制作展開事業	文化資源についての解説文や動画を制作し、各媒体で展開する。 ・彦根城、彦根城博物館、旧城下町地区および佐和山城跡周辺の文化資源に関するストーリー性のある基調を同じくした解説・紹介文の制作 ・彦根城の世界遺産登録に向けて、彦根城とその周辺地域に伝わる文化資源を紹介するプロモーションビデオを制作、放映する。	R3～R7	解説文を制作する文化資源の検討等を実施した。	船町口の解説板を設置した。 （設置：道路河川課、内容：文化財課） PRビデオについては、今年度着手しており、年度内に撮影を行った。	立花船町線休憩スポットに解説板設置予定（設置：道路河川課、内容：文化財課） PRビデオについて、動画配信した。	彦根城周辺休憩スポット（立花船町線・佐和町）に休憩スポット整備工事の一部として歴史サインを令和7年3月に設置【設置：道路河川課、内容：文化財課】 県市で設置している彦根城世界遺産登録推進協議会においてPR動画を作成し、放映中。	令和6年度に作成した動画の放送を継続した。	文化財課
事業1-②	関国記念館常設展示リニューアル事業	関国記念館において、最新の研究・発掘等の成果をふまえて特別史跡彦根城跡についての魅力をわかりやすく解説し、彦根城や玄宮楽々園などの文化財を実際に観覧する前に基本的な情報を獲得できるための常設展示をリニューアルし、充実させる。	R4～R6	令和4年度より着手予定。	今後のリニューアルの準備のため、世界遺産登録を目指す彦根城と一体で建設され、発展した城下町に関する企画展を行った。	彦根城および藩主とも関係の深い井伊神社についての総合調査に基づく企画展を行った。	R5年度の企画展を引き続き実施した。	令和5年度の企画展を引き続き実施した。	文化財課
事業1-③	彦根藩資料調査研究活用事業	「殿様の日常生活」を研究テーマとし、重要文化財彦根藩井伊家文書等、彦根藩関係の文化資源を用い、彦根城博物館学芸員と外部の専門研究者が共同研究を進め、彦根城主であった井伊家当主の日常生活の具体的様相を明らかにする。 その研究成果を博物館展示や出版物などによりわかりやすく広く発信するなど、史料に基づき明らかになった歴史を彦根の文化観光に活用していく。	R3～R7	関連資料の資料調査を実施した。また、3/21に調査内容についての公開研究会を実施した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	外部の専門研究者との共同研究会を実施した。また、令和5年3月26日に調査内容についての公開研究会を開催する。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	外部の専門研究者との共同研究会を実施した。また、令和6年3月24日に中間総括となる公開シンポジウムを開催した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	外部の専門研究者との共同研究会を実施した。また、R7.3.16に調査内容についての公開研究会を開催した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	外部の専門研究者との共同研究会を実施した。また、令和8年3月29日に、これまでの調査成果についての公開シンポジウムを開催する。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	彦根城博物館
事業1-④	文化資源魅力体感事業	彦根城および彦根城博物館、旧城下町地区、佐和山城跡周辺の文化資源の魅力を伝えるため、広く市内外の者を対象として、現地見学会等を実施する。	R3～R7	現地見学会等を開催した。 (世界遺産ウォーク・歴史探索ウォーク)	現地説明会等を開催した。 (発掘調査現地説明会)	現地説明会等を開催した。 (歴史探索ウォーク)	歴史探索ウォークを3回(R6.5.19、10.27、11.17)、世界遺産ウォークを2回(R7.3.9、3.29)開催した。	歴史探索ウォークを2回(11/9、11/30)、世界遺産ウォークを2回(12/6、3/14)開催した。	文化財課
事業1-⑤	伝統芸能・伝統芸道体感事業	彦根城博物館において、江戸時代後期に建てられた彦根城表御殿能舞台と、藩主が日常生活を営んだ表御殿奥向きを江戸時代さながらに復元した木造復元棟を活用し、彦根で栄えた能・狂言といった伝統芸能、茶の湯などの伝統芸道を体感・体験し、彦根さらには日本の歴史・文化に関する理解を深める場を提供する。 ・能・狂言の公演、体験型ワークショップの開催 ・能狂言公演動画のデジタル化、鑑賞ビデオコーナーの刷新 ・茶の湯体験（土・日・祝日に木造棟での茶室で茶の振舞を受けるコースを設ける。） ・茶会の開催	R3～R7	画像編集に関係する委託と閲覧用の機器のリース契約を行い、2月から画像閲覧サービスを開始した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】 単独事業分の演能は緊急事態宣言発出により中止した。	機器のリースを継続し、画像閲覧サービスを引き続き提供した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、能・狂言の公演は実施しなかった。	機器のリースを継続し、画像閲覧サービスを引き続き提供している。（単独事業へ移行） なお、令和5年度は能舞台周りの空気環境対策工事を実施するため、能・狂言の公演は行わなかった。	機器のリースを継続し、画像閲覧サービスを引き続き提供している。 なお、市の財政状況が厳しいため、能・狂言事業の予算化は認められず、能・狂言の公演は行わなかった。	機器のリースを継続し、画像閲覧サービスを引き続き提供している。 なお、市の厳しい財政状況により、能・狂言事業の実施予定なし。	彦根城博物館
事業1-⑥	歴史・文化発展継承事業	〇小中学生、高校生等が、彦根城や彦根城博物館、旧城下町地区、佐和山城跡周辺の文化資源を親しみながら学ぶことで、市民のおもてなし意識の向上、文化観光への参画意欲の向上を図るとともに、将来にわたり彦根の文化観光が発展していく礎とする。 ・井伊直弼の心を受け継ぐ茶道体験教室の開催 ・展示・ホームページ等における分かりやすい情報発信 ・出前講座の実施・観光ガイド体験 ・教育機関との連携 〇地域の歴史・文化の語り部として、ボランティアガイドの育成支援を行い、拠点施設や周辺エリアの観光ガイドの充実を図る。	R3～R7	演能は緊急事態宣言発出により中止し、準備経費のみ支出した。 ボランティアガイド協会への運営補助を実施した。	10月2日に小学生を対象とした茶道体験教室を開催した。参加人数：30名 ボランティアガイド協会への運営補助を継続して実施した。	10月15日に小学生を対象とした茶道体験教室を開催した。参加人数：39名 ボランティアガイド協会への運営補助を継続して実施した。	R6.10.27に小学生を対象とした茶道体験教室を開催した。参加人数：24名 ボランティアガイド協会への運営補助を継続して実施した。 大名庭園サミットの開催を支援した。	10月13日に小学生を対象とした茶道体験教室を開催した。参加人数：31名 ボランティアガイド協会への運営補助を継続して実施した。	彦根城博物館 観光交流課
事業1-⑦	多言語情報提供強化事業	〇外国人来訪者のニーズに応じ、外国人目線を意識した情報提供を強化する。 ・多言語パンフレットの充実（英語・中国語繁体字・中国語簡体字・フランス語・韓国語・スペイン語） ・彦根城博物館の展示解説の多言語化の充実 ・施設案内・館内アナウンスの多言語化 ・彦根城博物館でのアプリを用いた展示解説多言語音声ガイドの導入・充実 ・彦根城博物館名宝図録（英語版）の制作 ・彦根藩の歴史、彦根城博物館の収蔵品に関するコンパクトな英語版解説書の作成 ・多言語対応が可能な有償ガイドの育成・活用の検討 〇日本の歴史文化にも造詣の深い近江観光大使クリスグレン氏（（一社）近江ツーリズムボードが委嘱）を外国語翻訳アドバイザーとして起用し、ネイティブな外国語による伝わりやすく、かつ、適切な文化資源の魅力を解説・発信を行う。	R3～R7	外国人のための英語解説文を作成した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	令和3年度に製作した館蔵品の英語解説文を博物館ホームページで公開した。 文化芸術振興費補助金の対象事業としては採択されなかったため、英語版総合パンフレットおよび多言語観光マップを制作できなかった。 【文化芸術振興費補助金対象事業】（不採択）	彦根城博物館でのアプリを用いた展示解説音声ガイド（中国語）を開始した。	なし	なし。	彦根城博物館 観光交流課

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R3実施内容	R4実施内容	R5実施内容	R6実施内容	R7実施内容	担当課
事業1-⑧	観光行催事事業	彦根城を生かした観光イベントを実施し、観光客の増加を図る。 ・彦根城桜まつり・観月のタベ・ひこねの城まつり・錦秋の玄宮園ライトアップ ・彦根城夜間ライトアップ など	R3～R7	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月のタベ・城まつり・城あかり等)	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月のタベ・城まつり等)	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月のタベ・城まつり等)	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月のタベ・城まつり等)	彦根城周辺で観光イベントを実施した。 (桜まつり・観月のタベ・城まつり等)	観光交流課
事業1-⑨	文化資源周遊観光促進事業	重点区域内だけでなく、市内全域の文化資源を活用して、周遊観光を促進する取組を実施する。 ・鳥居本地区、高宮地区、荒神山周辺、びわ湖エリア等、市内に点在する城跡・古墳などをめぐるツアーやラリー等周遊企画の実施 ・周遊マップの作成や現地案内サイン、音声ガイド等の整備	R3～R7	周遊スポット等の検討等を行った。	周遊マップの制作および音声ガイドを整備した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	多言語音声ガイドコンテンツサーバー維持管理	多言語音声ガイドコンテンツサーバー維持管理	多言語音声ガイドコンテンツサーバー維持管理	観光交流課
事業1-⑩	特別史跡彦根城跡鳥獣被害調査・生態調査実施事業	特別史跡彦根城跡内の観音台登り口付近が鳥類のコロニー化し、鳥獣被害により来訪者の不満につながるおそれのある状態となっている。 当史跡内は鳥獣保護区であるため、鳥獣の駆除は困難であるが、鳥獣被害調査・生態調査等を実施し、対応策を検討することで、来訪者のストレスを解消し、満足度の向上を図る。	R6～R7	令和5年度より着手予定。	R6着手予定(R4実施予定なし)	県費補助を受け巣及び巣周辺の樹木の強剪定を実施。	県費補助（25万円）を受け、継続して巣及び巣周辺の樹木の強剪定を実施した。	県費補助（25万円）を受け、継続して巣及び巣周辺の樹木の強剪定を実施した。	文化財課
事業2-①	周遊観光アクセス向上事業	彦根城および彦根城博物館を核とした周辺観光地の面的拡大を図り、観光客の回遊性を高めるため、彦根城周辺地域の巡回バスの運行、レンタサイクル事業の実施を行うほか、グリーンスローモビリティなど新たな交通手段の導入を検討する。 巡回バスの運行は、グリーンスローモビリティや事業2－②のパーク・アンド・バスライドとの連携を含め、効果的に実施する。	R3～R7	巡回バスの運行支援およびレンタサイクル事業を実施した。	グリーンスローモビリティの社会実験を彦根城周辺で実施した。 巡回バスの運行支援およびレンタサイクル事業を継続して実施した。	グリーンスローモビリティの社会実験	該当なし	該当なし	交通政策課
事業2-②	観光客アクセス向上事業 (パーク・アンド・バスライド)	彦根城跡周辺の慢性的な交通渋滞の緩和や観光客の周遊等を目的に、自家用車から専用バスに乗り換えて目的地まで向かうパーク・アンド・バスライドの社会実験を行った後、本格実施する。	R3～R7	春と秋に社会実験を実施した。 秋の社会実験では有料（500円/台）で実施した。	秋（10/22、23、29、30、11/3、5）に社会実験を実施した。（※R4にて社会実験終了）	なし	該当なし	該当なし	都市計画課 交通政策課
事業2-③	観光客アクセス安全確保事業	観光客を含む歩行者の安全安心対策等のため、彦根城跡周辺の道路環境を整備する。 ・立花船町線道路改築 ・大東船町線道路改築 ・尾末町2号線道路改築	R3～R7	道路改良工事を行った。 (立花船町線・大東船町線)	立花船町線：継続して道路改良工事を実施しました 大東船町線(旭町交差点から北側)：R3で完了しました	立花船町線：継続して道路改築工事を実施【道路河川課】 尾末町2号線道路改良工事【都市計画課】 大東船町線(ｱﾙﾌﾞﾗ前交差点から南側)：未着手【市街地整備課】	立花船町線：継続して道路改築工事を実施し、令和7年3月に供用開始【道路河川課】 R6.12月:護国神社前交差点、佐和町の一部 車道舗装舗設、路面標示設置、車線切替、交通規制変更 R6.12月：全線 電線類入線、電柱類抜柱完了 R7.1月：佐和町の一部、立花町、中央町 車道舗装舗設、路面標示設置、一方通行交通規制解除 R7.3月：供用開始	なし	道路河川課 都市計画課
事業2-④	観光地案内等情報提供充実強化事業	彦根駅・彦根城周辺の案内サイン等を整備することで、観光客への情報提供の充実・強化を図る。 ・案内サイン整備 ・彦根駅サイン整備 ・バスロケーションシステム情報表示盤整備	R3～R5	旧城下町地区内に公共サイン（案内および誘導サイン）の設置を行った。	立花町ほか2町で公共サイン（3基）を設置した。 計画していた公共サインの設置は、R4年度で完了した。	R5年度は、既設サインの表示内容の時点修正を行った。 なお、R4年度で公共サイン（案内および誘導サイン）の設置を完了としたため、R5年度以降の案内サイン整備に係る事業計画は無い。	R4年度で設置を完了したため、事業計画なし	なし	文化財課 都市計画課
事業2-⑤	おもてなし空間整備事業	彦根駅・彦根城周辺に休憩スポット等を整備し、観光客の周遊環境を向上する。 ・彦根駅西口広場改築 ・休憩スポット整備（市役所前・彦根城周辺） ・都市公園（金亀公園）再整備 ・都市公園（京町公園）整備	R3～R7	公園整備等を実施した。(金亀公園・京町公園) 西口広場改築に係る交通量調査を実施した。	金亀公園：連絡橋整備負担金、園路スロープ整備、多目的競技場人工芝整備ほか【都市計画課】 京町公園：公園整備工事【都市計画課】 西口駅前広場再整備に関連する事業用地取得に向けて土地の鑑定評価を実施した。【市街地整備課】 彦根城周辺：城町二丁目の休憩スポットを継続して整備し、完了しました。【道路河川課】	金亀公園：駐車場測量・拡張設計、管理棟改修設計、園路広場施設整備工事ほか【都市計画課】 西口駅前広場再整備の計画見直しによる関係機関協議ならびに事業用地取得交渉【市街地整備課】 彦根城周辺（佐和町）：休憩スポット整備工事の準備を実施【道路河川課】	金亀公園：駐車場拡張、管理棟移築、園路整備およびテニスコート人工芝張替を実施。【都市計画課】 事業用地として旧彦根駅前交番跡地（旭町501番）を滋賀県警察本部から令和7年4月に取得【市街地整備課】 彦根城周辺休憩スポット（立花船町線・佐和町）：休憩スポット整備工事を実施し、令和7年3月に供用開始【道路河川課】	金亀公園：（明緑）駐車場拡張、園路整備【都市計画課】 特になし【道路河川課】	都市計画課 市街地整備課 道路河川課

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R3実施内容	R4実施内容	R5実施内容	R6実施内容	R7実施内容	担当課
事業2-⑥	キャッシュレス支払システム導入事業	彦根城・彦根城博物館において、現金を利用しない外国人向けにキャッシュレス（クレジットカード）決済システムを導入する。	R3～R7	関連機器のリース契約の完了とレシートプリンターの購入を行い、2月から、キャッシュレス決済を開始した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	専用機器のリースを継続し、引き続きキャッシュレス決済を行った。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	専用機器のリースを継続し、引き続きキャッシュレス決済を継続した。（単独事業へ移行）	専用機器のリースを継続し、引き続きキャッシュレス決済を行った。	専用機器のリースを継続し、引き続きキャッシュレス決済を行った。	彦根城博物館
事業3-①	商品・グッズ等開発事業	史料等も活用し、「ここでしか買えない」「このときにしか買えない」といった来訪意欲や満足度の向上に繋がるような、彦根城と彦根城博物館ならではの商品・グッズの開発・販売を行う。	R3～R7	商品として絵葉書や御城印を作成・販売した。	「赤備え」をイメージさせる新しい御城印と不織布トートバッグを作成した。	なし	新作の限定版御城印を作成し、販売した。 博物館オリジナルグッズ制作協力事業者を募集し、選定した民間事業者と連携して博物館オリジナルグッズを制作して販売を開始(R7.3.20から順次)した。	新作の限定版御城印を作成し、販売した。 引き続き、民間事業者の協力を得て博物館オリジナルグッズを制作し、販売した。	彦根城博物館
事業3-②	拠点施設を活用したツアーメニュー開発事業	拠点施設の夜間特別公開等の実施および公開に合わせた宿泊施設と連携したパッケージツアー、学芸員によるガイドツアー、能舞台での能・狂言イベント鑑賞ツアー等の開発・検討・実証等の事業を実施する。 ・彦根城および彦根城博物館の夜間特別公開 ・学芸員による館内解説付き能・狂言鑑賞ツアー ・名勝玄宮園夜間貸し切りディナー付き特別ツアー　等	R3～R7	拠点施設夜間特別公開連携事業を実施した。 (彦根城夜間公開・博物館寒月の茶席・彦根夜の陣)	1 0月に博物館木造棟にて茶席事業「秋声の茶席」を実施したほか、一体的な情報発信など拠点施設夜間公開連携事業を実施した。（個別の支出はないが、業務委託全体の中で実施）	1 0月に彦根城博物館木造棟にて、特別展「大名と菓子ー百菓繚乱」の開催に合わせ、茶席事業「秋声の茶席」を実施した。夜間公開を実施。	かつて大名や侍が実際に使用した彦根城内の建物等にて侍文化等を体験できるプログラムを民間事業者に開発および実施してもらい、認定書を贈呈する制度。	なし。	彦根城博物館 観光交流課
事業3-③	拠点施設を活用したにぎわいづくり事業	彦根城博物館の復元木造棟など拠点施設を観光事業者が活用し、体験事業やイベントの開催などを実施する。 ・夜間・早朝時間帯における木造棟での史料も参考にした食事体験 ・施設の夜間特別公開イベントに合わせた屋外レストランやナイトマーケット　等	R3～R7	事業内容の検討等を行った。	特別な体験事業をツアーとして商品化するためのモニターツアーを実施、解説動画の作成などを行った。それに際して、博物館から歴史資料などの情報提供を行った。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	特別な体験事業をツアーとして商品化をめざす。	なし	なし。	観光交流課 彦根城博物館
事業4-①	文化観光情報発信事業	「彦根観光ガイド」（総合観光情報）、彦根城、彦根城博物館の各ホームページ・SNSのリニューアル・コンテンツ充実や広域観光情報ホームページ「V I S I T O M I」を含めた連携強化を図るとともに、関係機関・メディア等を通じて、積極的に情報発信を行う。	R3～R7	観光ホームページの改修やSNSの新規開設等を行った。	ホームページ、TwitterをはじめSNS等を継続して運用している。	ホームページ、TwitterをはじめSNS等を継続して運用している。	ホームページ、XをはじめSNS等を継続して運用している。	ホームページ、XをはじめSNS等を継続して運用した。	彦根城博物館 観光交流課
事業4-②	文化観光誘客プロモーション事業	彦根城や彦根城博物館その他の市内の文化資源や文化観光の魅力を国内外にPRし誘客を図る。 ・WEB、雑誌、交通等各種媒体を活用した広告掲出等によるプロモーション ・大都市圏で開催される観光展、旅行博等への出展によるプロモーション	R3～R7	交通広告等各種媒体を活用した広告掲出および「お城EXPO」「にっぽん城まつり」などお城をテーマとした観光展への出展を行った。	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を継続して実施した。 (誘客プロモーション・お城EXPO等(横浜・大阪・滋賀)	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を継続して実施した。 (誘客プロモーション・お城EXPO等(横浜・大阪・姫路・愛知)) 彦根城博物館は「にっぽん城まつり」に出展。	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を継続して実施した。 (誘客プロモーション・お城EXPO等(横浜・大阪・滋賀・愛知)) 彦根城博物館は「にっぽん城まつり」に出展した。	各種媒体を活用した広告掲出および観光展への出展を継続して実施した。 (誘客プロモーション・お城EXPO(横浜・松江・滋賀・愛知)、大阪・関西万博など) 彦根城博物館は「にっぽん城まつり」に出展。	観光交流課 彦根城博物館
事業5-①	彦根城内看板整備事業	彦根城内の既存の案内看板の仕様を統一し、改修する（案内看板は乱立させず、補足情報等はQRコードを用いて公開する。）。 【※事業1－①関連】	R4～R5	令和4年度より着手予定。	庁内関係所属と調整を図り、特別史跡内の案内看板の作成支援を行った。	彦根城跡等維持管理等委託業者の協力のもと、スマートフォンを活用した多言語音声ガイドの実装を目指して協議を行った。	彦根城跡等維持管理等委託業者と多言語音声ガイドの実施に向けて検討中	彦根城跡等維持管理委託業者の協力のもと、彦根城公式ホームページでのスマートフォンを活用した多言語音声ガイドの実装に向けた検討を行った。	文化財課

事業番号	事業名	事業内容	実施時期	R3実施内容	R4実施内容	R5実施内容	R6実施内容	R7実施内容	担当課
事業5-②	彦根城博物館リニューアル事業	彦根城博物館の魅力を高めるため、能舞台周りの改修のほか、ホール等のおもてなし空間をリニューアルする。 ・能舞台正面見所・脇見所の改修 館中央にある江戸時代の能舞台について、イベントなどで活用するに当たり、能舞台の見所（観客席）のある建物を開放することにより外気が館内に流入し、博物館展示室・収蔵庫の文化財の保存環境に悪影響を与えるリスクがあることから、安全な文化財環境の維持、と能舞台の活用を両立するため、正面見所・脇見所のパーテーションを整備するなど、外気の流入を防止するために必要な能舞台周りの改修を行う。 ・おもてなし空間リニューアル ホール・受付・ミュージアムショップ・薄茶席といったおもてなし空間のリニューアルによりくつろぎやすい空間を提供する。 ・館内サインリニューアル 館内のサインをリニューアル後の様態とマッチし、統一したものとするとともに、わかりやすい表示にする。 ・能・狂言鑑賞ビデオコーナーのリニューアル 能・狂言の公演動画を放映するため、映像機器の刷新整備を行う。 【※事業1－①、1－③、1－④、1－⑤、3－②、3－③関連】	R3～R6	リニューアルに係る実施計画を策定した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	基本計画に基づき、令和5年度以降に行うリニューアル工事の実施設計を行った。 契約日：令和4年8月22日 完成日：令和5年2月8日 【文化芸術振興費補助金対象事業】	博物館中央にある江戸時代に建てられた能舞台は、イベントなどで活用するにあたり、見所や脇見所(ともに観覧席)の窓を開放する必要がある。その際、外気が館内に流入し、展示室の文化財の保存環境に悪影響を与えるリスクがあることから、能舞台のさらなる活用を図るためパーテーションの改修を行い外気流入対策を施した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	ホール・受付・ミュージアムショップといったおもてなし空間は、開館当初からほとんど手を加えられておらず、今の時代に合わない古びた印象となっていたため、彦根城博物館の魅力を高めるため、①ミュージアムショップの改修と、②受付をはじめ館内の案内表示の改修、③鉄扉のため木造棟への動線を分かりづらくしている防火戸をガラス戸への変更といった3つの改修工事を行った。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	なし。	彦根城博物館
事業5-③	彦根城博物館館展示ケース整備事業	展示における作品の見せ方、説明の仕方などを創意工夫して展示作品の魅力を十分に味わうことができるよう、展示ケース整備を行う。 ・低反射フィルム貼付 展示作品そのものの魅力を十分に堪能できるように、展示ケースガラスに低反射フィルムを貼り付ける。 ・展示ケース内のデザイン・展示具の整備 展示作品の魅力を実感・体感できるように、展示ケース内のデザイン・展示具を整備する。 ・独立展示ケース購入 【※事業1－①、1－③、1－④関連】	R3～R6	展示室5・6に低反射フィルムの貼付けを行ったほか、「独立展示」ケースを購入した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	展示室1～3に低反射フィルムの貼付けを行い、行灯ケースの購入した。 【低反射フィルム貼付】 契約日：令和4年9月29日 完成日：令和5年3月13日 【展示ケース購入】 契約日：令和4年12月8日 納品日：令和5年3月22日 【文化芸術振興費補助金対象事業】	なし	当館の魅力は、大名家伝来の美術品・古文書等を、江戸時代の大名屋敷を復元した建物において観覧できる点にあるが、一部の展示室は木造建築である御殿をイメージした意匠となっていないなど、展示空間のイメージを損なうものとなっている。これを改善して館内のイメージの統一を図り、インバウンドにも対応するため、①展示ケースリニューアル委託と②展示レイアウトおよびタペストリー・解説パネルリニューアル、2つの事業を実施した。 【文化芸術振興費補助金対象事業】	なし。	彦根城博物館
事業5-④	佐和山史跡公園環境整備事業	佐和山城跡周辺への来訪者に対して、佐和山城の歴史を学ぶスペースとするとともに、休憩できる場所とするため、四阿を整備する。 【※事業1－⑨関連】	R3～R5	佐和山城跡の来訪者アンケートを行った。	四阿等の整備内容、仕様等の検討を行った。	計画どおりR5年度予算にて要求したが、査定で認められず予算化できなかった。	実施予定なし	なし	観光交流課